

第六号〆切日までに届いた意見を参考とし、宿題委員会が中心となって早急決定の上、

第六号誌上に報知していただいくことが必要

と思います。個人的な意見としては、討議

の方針には、(1)宿題委員会又は適當な人か

ら、第五号にのせられた如き問題点を、共

通の課題として出してもらい、これを中心

に参会者が各自の研究に基くデータなり意

見なりを出し合う方法と、(2)村落構造の現

つかの類型における場合を代表する事例的

研究を送んで致人に發表させ、これを中心

に討議する方法(勿論その場合には發表事

例の系統的な選択と討議方向の規制が必要

である)との二つを考え、その何れかを選

ぶとすれば、本年の如きは、前者をえらぶ

方が安全であつて共同討議としても効果的

であると考えます。しかしすぐにお五号誌

上で、各自の研究発表の申込が審議されて

いる旨を考慮に入れると、たとえば(2)を

午前中に、(1)を午後に行うというよう、酒肴を併用し、太陰の感覚をより豊かなも

のにすることが考えられます。しかしそれ

は、共同討議及びその他の必要な協議時間の關係から支障があるかも知れません。被

仙台大会共同議論の方法について

慶應義塾大学 機械 和夫

仙台大会の共同討議の方法については、

すでに時報が切迫しているので、研究通稿